

コロナ 対策

生活困窮者支援給付金と 子育て世帯生活支援特別給付金



市議会の民生福祉常任委員会に2つの新型コロナ生活支援給付金が提案されました。

子育て世帯生活支援特別給付金

非課税世帯の子どもひとり5万円の給付があります。ひとり親世帯への給付に続いて、児童手当を受けている中学生までの子どもの世帯に、申請の手続きなしで、順次給付されます。

問題は高校生などの家庭

高校生の世帯は児童手当の対象ではないので申請が必要です。村上議員の質問で、高校に行っていない18歳以下の子ども世帯やDVなどで逃げている場合も、申請すれば給付されることになりました。市は広報くしろに記事載せるなどしますが、申請で困っている方は問い合わせてください。

来年3月生まれの子ども

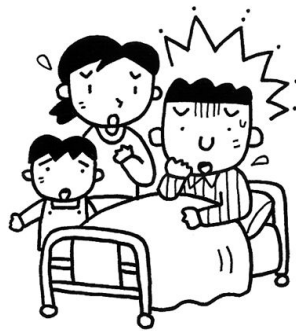
実はこの給付金、来年2月までに生まれた子が対象で、3月生まれは対象外です。「同じ年度に生まれたのに外れる子には、市が独自に給付すべき」と求めましたが、市はやらない考えです。対象となる子はわずかで、市に温かい気持ちがあれば、簡単にできるはず



ずです。

生活困窮者支援給付金

社会福祉協議会は、コロナで生活が苦しくなった人に「総合支援資金」を貸し付けています。しかし限度いっぱい借りて、途方に暮れている人がいます。国は対象を絞ったうえで、そうした世帯に月6〜10万円を3か月間給付します。



これで本当に生活再建できるか

貸付と違い給付ですので、喜ばれるのは間違いありませんが、対象となる人は限られ、3か月の給付が終わるとたちまち困窮です。

「くしろ」とからのサポートや生活保護も視野に市は生活再建を支援を

する考えを示しましたが、そもそも国の給付金があまりにも少ないことが一番の問題です。



消防団員の報酬引き上げへ

消防職員と一緒に火災や災害で活動する消防団員。ボランティア精神なしにはやれないとはいえ、本当に頭が下がります。消防団員には年額定額で27,600円、災害や訓練の出動は1回4,800円の報酬が出ますが、その任務と比べるとあまりにも低額です。



村上議員の質問に、「総務省は年額報酬を36,500円に、災害出動では8,000円/日の報酬とするよう全国に通知しており、消防団と協議をしたうえで、来年4月から増額できるよう条例改正案を検討している」と答えました。村上議員は、報酬改定をきっかけに、団員の確保にさらに努力してほしいと述べました。



村上かずしげ通信

2021.7.25

発行 共産党市議団



市民連合@くしろ・ねむろ 4野党協議が再開

新型コロナウイルスの蔓延で中断していた北海道7区での野党と市民連合の協議が再開されました。共産党からは石川明美小選挙区予定候補と村上和繁党根拠地区委員長が参加。立憲、社民、新社会の代表と、都議選で野党共闘が力を発揮したことや、総選挙に向けた今後の取り組みについて話し合いました。

4野党合同街頭演説

7月22日(木・祝日)

13時30分 駅前 14時30分 釧路町イオン

8月8日(日)

13時30分 鳥取アークス 14時30分 昭和ユニクロ

市民と野党の共闘で チェンジ国政! 市民集会

8月28日(土)午後1時30分 まなぼっと2階

■川原茂雄さん(市民の風北海道共同代表)記念講演

■野党代表のパネルディスカッション